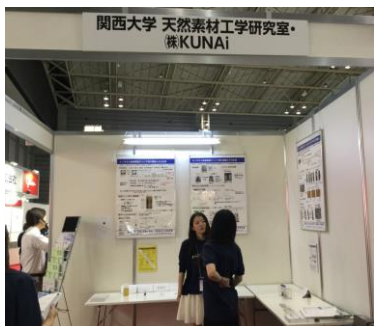


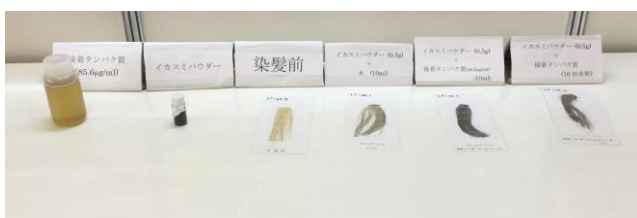
CITE Japan 2017 に出展、参加して

2017年5月31日から6月2日に、パシフィコ横浜にて CITE JAPAN2017 が開催されました。天然素材工学研究室は、ベンチャー(株)KUNAIと一緒に出展しました。毎年、リード主催の化粧品開発展には1日だけのパネル展示をしていますが、今回初めて CITE Japan 2017 に出展しました。1小間のみでしたので、パネルは3枚にしました。今回展示した素材は、エノキタケ由来接着タンパク質エキスとコーヒー粕由来コーヒーマンナンです。



エノキタケ接

着タンパク質は、鍋を食した後エノキタケが残っている場合に、鍋にエノキタケがくっつくという現象をヒントに研究が開始されました。分子量14000のタンパク質で、多糖、酸化チタンなどの粒子、髪の毛に接着します。その接着タンパク質は現在、染毛効果の試験を開始しており、天然色素のイカスミパウダー（メラニン色素）を脱色し



た髪の毛に染色できるかどうかを展示しました。非常に興味を持って下さり、多くの方が来場していただきました（150名以上）。もう一つの素材であるコーヒー粕由来コーヒーマンナンは、油（シリコンオイルなど）をゲ

ル化できる作用があります。この乳化やゲル化によって、新たな触感の化粧品クリームなどのデザインにも応用できる可能性を説明しました。今回も、学生3名が参加しており、わかりやすく来場者に説明し、展示会に出展している企業の見学なども行いました。学生達も3日間展示会に参加して、非常に良い経験になったと思います。